


投稿

- 11月1日(水)**  
**記念講演**  
13:00～ 総科大講  
『追憶・哀傷そして責任』  
H.シュミット元西ドイツ首相
- 11月2日(木)**  
**国際シンポジウム**  
「アジアの時代と日本」分科会  
9:00～ 広島国際会議場
- 11月3日(金)**  
**国際シンポジウム**  
「アジアの時代と日本」全体会議  
9:30～ 広島国際会議場
- 11月4日(土)**  
**留學生スピーチコンテスト**  
10:00～ 大学会館
- 11月11日(土)**  
**フェニックスコンサート**  
14:00～ 大学会館
- 記念式典**  
15:00～ 西体育館武道場
- 祝賀会**  
16:00～ 西体育館アリーナ
- 音楽コンサート**  
東広島市中央公民館
- バレーボール大会**  
北・西体育館
- 大学祭** (～5日まで)

**11月4日(土)**  
**留學生スピーチコンテスト**  
10:00～ 大学会館

**11月17日(金)**  
**坂田明氏講演会**



「ミジンコから学んだこと」  
東広島市中央公民館

\*フェニックス駅伝は  
12月3日に実施

## 大学事業一覧

## 学部事業

- 10月19日  
工学部  
◆テクノフォーラム (15時～16時)
- 11月1日  
大学院国際協力研究科  
◆シュミット元西ドイツ首相と学生の対話集会 (講演終了後～)
- 11月3日  
理学部  
◆学部公開 (10時～4日16時)
- 文学部  
◆懸賞論文表彰式 (13時～)
- 法学部  
◆学生による模擬裁判
- 生物生産学部  
◆学部公開 (10時～16時)
- 附属図書館  
◆施設公開と資料展示 (3日～4日16時)
- 11月4日  
総合科学部  
◆学部公開 (4日9時～5日17時)
- 学校教育学部  
◆教材・教具の展示 (4日～5日)

- 11月5日  
総合科学部  
◆体験入学 (9時～15時)
  - 学校教育学部  
◆小・中学生一日体験入学公開シンポジウム
  - 11月9日  
経済学部  
◆基調講演会及び論文募集による表彰式
  - 11月10日  
教育学部  
◆第4回ベスタロッテ教育賞表彰式・記念講演会 (13時～15時)
- その他、11月中に  
法学部 公開討論会  
工学部 研究室公開, 学部公開  
を実施予定

フェニックスフェスタ (統合移転完了記念事業) の内容決まる  
—11月1日から1週間に集中して—

# フェニックスフェスタ



飛翔する11月

フェニックスフェスタの準備は立ち上がりが遅れたが、七月末にやっと全計画が確定した。五月下旬にロゴマークを公募、決定し、七月上旬にはロゴマーク入りの専用封筒を全学部に一斉配布し使用に踏み切った。また、学長や各学部の学部長・事務長を先頭に、「財政」部会(牟田泰三部会長)の募金活動も学内外に展開され、しだいに盛り上がりを見せている。

フェスタの主な行事日程は表のように、十一月一日の記念講演、記念式典・祝賀会に始まり、十二月三日のフェニックス駅伝で終わるが、主な行事は大学祭をはさんだ最初の一週間に集中している。目玉のいくつかを紹介する。

十一月一日のヘルムート・シュミット元西ドイツ首相の記念講演「追憶、哀傷そして責任」は冷戦時代の終わりに、サッチャー首相、レーガン大統領、ブレジネフ書記長などとわたりあった大物政治家の講演だけに、内外から注目を集めている。講演は約一時間で、英語と日本語の同時通訳で行われる。会場は総合科学部大講義室(五百人収容)で、「記念式典・祝賀会」部会(金田晋部会長)ではモニターテレビによって他教室でも聴講できるようにしている。講演終了後、学生による対話集会「国際協力研究科担当」も予定されている。

「記念品」部会(西川亮部会長)で

は、広島特産の銅蟲製品、テレフォンカードなどを用意している。

十一月二・三日には、広島国際会議場で「国際シンポジウム」部会(山下彰一部会長)による「アジアの時代と日本」というアジアと日本の関係を討論し、日本の将来課題を模索する国際シンポジウムが開かれる。これは文部省の学術研究会の事業の助成を受けて開催するものであり、一般市民にも公開される。

「地域と協力したイベント」部会(中川平介部会長)では、コンサート、バレーボール大会や講演会を計画しているが、呼びものは生物生産学部の卒業生で、ユニークなミュージシャンとして知られる坂田明氏による講演会「ミジンコから学んだこと」。母校のためとあって十一月十七日に駆けつける。

「スピーチコンテスト」部会(廣安博之部会長)では、十一月四日午前十時から留学生による日本語スピーチコンテスト、午後二時から学生及び東広島市民によるパネルディスカッションを予定している。

広報部会では、各同窓会の協力をえて卒業生八万人に統合移転の完了を告げ、一口五千円の募金を募る、本学初のメッセージを発送し終えた。記念式典当日、参加者と教職員に配布され、募金協力者に郵送されるA4二〇〇ページのカラーグラビア、統合移転記念誌「翔

べ!、フェニックス」の編集作業や各種のポスターの作成に追われている。

また、学部主催の各種行事も、理学部を先頭にいろいろと計画されている。大学の公式行事と並行して、東広島市は広大からフェニックスフェスタのロゴマークを借用し、移転完了記念のシンボルとする。市主催の一連の記念事業の他に、商工会などによる大売り出し、「広大饅頭」製作なども検討されている。

学内でも生協はロゴマーク入りのTシャツの製造販売を検討中である。

大学祭とのからみで休講がどうか、か学生に一番関心のあるところだが、記念式典当日は、教官が式典に参加するため休講措置が決まった。ただし、学生がいないキャンパスにゲストだけが招かれて来るといふ事態は異常であり、実行委員会ではロゴマーク入りのTシャツを着た若者が、日本一のキャンパスに多数集まってくることを期待している。

統合移転記念事業実行委員会  
(広報部会長) 難波紘二

